

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名	マシンで筋力トレーニング					所管	福祉部 介護予防・地域支援課
	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)	事業の開始・終了年度	
長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 平成19年度	
	[小 柱]					[終了予定] - 年度	
	[施 策]						
根拠法令等	法令(義務)	[法令等名]	介護保険法				
事業対象	区内在住の65歳以上の方						
事業目的	高齢者へ介護予防に資する教室を提供することで、介護予防に関する基本的な知識や習慣を定着化し、自主的な介護予防活動を推進する。						
事業内容	千束健康増進センターを会場として、健康運動指導士の指導により、運動機器を利用したトレーニングを行う。 ・実施日及び回数 1ヵ月を1クールとし、年に12回 毎週火曜・金曜に開催 (各月8~9回開催、1回あたり2時間程度) ・定員 各12名						
委託の有無	一部委託	委託内容		健康運動指導士の派遣、事業の実施			
補助金の有無	国・都						
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	25年度	26年度	27年度
	活動指標	教室開催数	クール	12	12	12	12
		参加者数	人	144	144	142	140
	決算額 (単位:千円)				1,867	1,918	1,928
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			852	850	1,208
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			1,868	1,918	1,928
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	0	0
		総経費			2,720	2,768	3,136
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			226	235	224
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			1,437	1,683	1,491
一般財源(区負担額)			1,057	850	1,421		
前回評価から改善した事項	なし						
評価の視点	評価	評価の理由					
	必要性	3	今後、高齢者人口が増加していく中、要介護状態にならないように元気なうちから介護予防活動を行うことは重要であり、本事業は区民にとって介護予防活動の1つの選択肢となっている。				
	効率性	3	トレーニング室の広さ、運動機器の台数等を考慮すると現状規模による事業実施が妥当である。参加者数も安定しており、効率性やコストについては特段大きな変化はない。				
	手段の適切性	3	利用者に対して専門的な知識や指導技術によるサービスを提供しているが、他類似事業との関連性を考慮しながら事業整理を行う必要がある。				
	目的達成度	3	きっかけとして始め、自主的に活動につなげる方もいれば、個人利用よりも教室として継続して参加したい方もおり、それぞれの運動習慣につながっている。				
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	改善 拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了
本事業は、高齢者の自主的な介護予防を支援するために必要な事業であるが、事業の効果の検証や他類似事業との関連性を考慮しながら事業整理を行っていく。							